

# 経営デザインシートに基づく知財経営の実践

会社名 株式会社木村鋳造所  
 所在地 静岡県駿東郡清水町長沢1157  
 従業員 867名  
 資本金 8,500万円  
 売上高 223億円(2022年度)  
 業種 製造業



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 「鋳物の革命児」を標榜し、フルモールド鋳造法等の技術を強みとして事業に取り組んできた。
- 今後、これまでの技術も活用しながら既存事業の拡大および新事業創出を図っていききたい。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

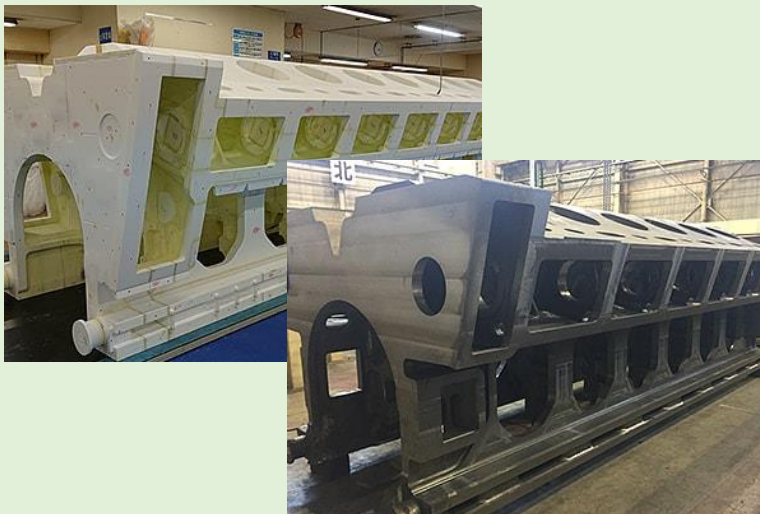
- 全社版および各事業部版の経営デザインシートを作成し、当社が今後目指していく方向性を統一した形で見える化できた。
- 契約管理を含めた知財管理体制を強化できた。

## 今後の事業展開の展望

Future

- 策定した事業戦略・知財戦略と、整備した知財管理体制を基盤として、事業拡大に向けた実行フェーズを進めていく。
- 自社の知財を的確に管理しながら、協業等を進めて市場を広げていく。

## 重点支援を受けた事業や商材



鋳物の製法にはさまざまなものがある中で、当社は「フルモールド鋳造法」の利用に強みを持っている。現在ではITも活用しながら、フルモールド鋳造法による量産化を実現できるようになっている。

当社のこの技術によって、短納期を実現できていることがお客様からも評価をいただいている。

また、納期だけでなく当然品質も高い評価をいただいております。これは発泡模型から鋳物まで一貫して実施できる当社だからこそ提供できる価値となっている。

## 重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略の策定	事業戦略の解像度を高めることが重要課題となっており、自社の強み・知財を活かした戦略設計が必要である。
知財戦略の策定	一定数の特許出願を実施してきており、今後それを戦略的な目線で扱っていくことが必要である。
知財マネジメント体制構築	事業展開に際して、知財に関する対応や規程等を整備しておくことが必要である。
重要情報の管理	社内に多くのノウハウ等が蓄積されており、それを営業秘密と位置付けて管理する仕組みの整備が必要である。
契約整備	他社との協業機会もあるため、契約に際しての留意点や管理方法等を習得することが必要である。

## 重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
経営デザインシート作成を通じた事業戦略の具体化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全社版の経営デザインシートだけでなく、各事業部版も作成することによって、部門をまたいでディスカッションできる機会が増えた。</li> <li>• 全社的に今後の進み方を意思統一できた。</li> </ul>	弁理士 中小企業診断士
事業戦略と連動した知財戦略の策定と知財体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事業に関連付けた形で知財知識を一通り身につけられたほか、海外展開における商標の重要性を意識できた。</li> <li>• 以前策定した職務発明規程について、現状を踏まえて改訂を行うことで、社内の知財体制を強化できた。</li> </ul>	弁理士 中小企業診断士
情報管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社内における重要情報をリストアップし、営業秘密として管理するための方法を習得できた。</li> <li>• 自社情報だけでなく、他社からの情報についても情報管理対象として強く意識を持つことができた。</li> </ul>	弁理士 知財戦略AD
契約全般に関する助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 契約に際して、自社が留意しなければならない観点を把握することができた。</li> <li>• 社内での契約締結プロセスを整備できた。</li> </ul>	弁理士 海外知財PD

## 支援チーム紹介

リーダー専門家: 知財戦略専門家 石黒 一夫

活用専門家: 弁理士、中小企業診断士、海外知財PD、知財戦略AD

知財総合支援窓口担当者: 静岡県知財総合支援窓口 中村 宏之

PO(プログラムオフィサー): 池田 清志